2026年11月12日

会 社 名　株式会社 トミタ
代表者名　代表取締役社長　冨田　稔
（コード：8147　東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役総務部長　中村　龍二
（TEL 03-3765-1219）

第２四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期の第２四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、通期の業績予想値を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

１.2027年３月期第２四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 12,000	百万円 650	百万円 700	百万円 490	円 銭 94.94
実績値（B）	13,574	531	543	255	49.19
増減額（B－A）	1,574	△118	△156	△234	
増減率（%）	13.1	△18.2	△22.4	△47.9	
（ご参考）前第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	10,996	373	470	323	62.97

２.2027年３月期通期の連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 24,600	百万円 1,000	百万円 1,100	百万円 680	円 銭 131.75
今回修正予想（B）	25,700	1,000	1,100	560	107.96
増減額（B－A）	1,100	0	0	△120	
増減率（%）	4.5	0.0	0.0	△17.6	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	22,935	678	908	664	128.66

３.修正の理由

売上高につきましては、日本セグメントにおいて舶用機器メーカー及び半導体製造装置部品メーカー向け売上が堅調に推移したことに加え、2025 年 11 月に新日本産業株式会社を連結の範囲に含めたこと等が寄与しました。これにより、第２四半期の連結業績予想と実績値との差異が生じ、通期連結業績予想につきましても上方修正いたします。

利益につきましては、本日公表した「(開示事項の経過) 本社ビルの建替え及びそれに伴う特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、所有する本社ビルの建替えに伴い、減損損失 27 百万円及び立退き費用等として建替関連損失 159 百万円、合計 186 百万円を特別損失として計上することとなりました。これにより、第２四半期の連結業績予想と実績値との差異が生じ、通期連結業績予想につきましても下方修正いたします。なお、来期も立退き費用等は発生する見込みですが、業績に与える影響は現在精査中であり、今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

配当予想につきましては、上記の特別損失は本社ビルの建替え伴う一時的なものであり、売上高は順調に推移していること、また、当社の配当方針を踏まえ、変更いたしません。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以　上